

自治体 & ソーシャルビジネスギャザリングピッチ

QUINTBRIDGEには熱い思いをもった「自治体」、多様性あふれる「企業」が所属しています。自治体ピッチはQUINTBRIDGEの中でも名物イベントの一つで、昨年10月に開催した自治体ピッチ第3弾では、100人を超える参加者が集まりました。2周年イベントでは、**地域課題を解決するための事業アイデアを持つ企業、そして課題に熱心に向き合い、真の解決を願う自治体の皆さんが一堂に会して、具体性の高いリバーシピッチを実施します。**

Polimill株式会社

登壇タイトル

だれでも課題の解決に参加できるSNS【Surfvote】 & デジタル公共財の活用



登壇者紹介

Brody Julian (ブロディ ジュリアン)

テクノロジーエバンジェリスト。香港生まれ。英国人。幼少期は長野県白馬村でスキーに興じる。社会ではものづくりから情報の流通とマネタイズまで幅広い分野を経験。

企業紹介



2021年創業・さまざまな専門領域の達人約30人が参画するGovTechプロジェクトを法人化・社会デザインプラットフォーム「Surfvote」の開発・運営・提供

株式会社 Armory

登壇タイトル

持続可能なアントレプレナーシップ教育の仕組みをデザインする「アントレクエスト」



登壇者紹介

福永 祐作

1994年生まれ。北海道出身。海外のプロサッカーチームでの挑戦を誘われるも怪我で断念し引退。目的のない人生が嫌で学生起業を決定し、学生向け起業家育成コミュニティを立ち上げたのち、株式会社Armoryを設立。

企業紹介



「若者が挑戦する文化を創る」をミッションに、挑戦する機会や仕組みをデザインする会社。アントレプレナーシップ教育を通じたマインド形成やキャリア/起業支援まで手掛けている。

株式会社IKETEL

登壇タイトル

関係人口創出と産業振興を通じた地域・社会の活性化



登壇者紹介

松本 栄祐

株式会社IKETEL 代表取締役社長

大阪出身(日本全国3周~/世界5大陸を渡航)

世界で唯一「フグの毒を水で分解」した人

前職はダイキン工業で商品開発の仕事

顔は一人ジャルジャル

企業紹介



「ガッツとテックで地域・社会のミライをつくる」をVision & Missionに、関係人口創出や地場産業のアップデートを通じた地域の活性化、社会問題の解決に取り組んでいます。

株式会社ZIAI

登壇タイトル

不登校・ひきこもりの予防に向けてテクノロジーができること



登壇者紹介

櫻井 昌佳

大阪生まれ大阪育ち。神戸大学を卒業後に新卒で商社に入社。その後ITベンチャー企業を経て独立。2019年にはインドでNGO法人Gawainを設立し、途上国のスラム街に住む女性や子どもを性暴力から守る世界初のメソッド開発・展開に従事。これまで12,000人に介入し、犯罪予防率は90%以上を達成。翌2020年には日本で自殺予防を目的にした非営利のAI研究開発機関 ZIAIを立ち上げ同団体代表理事。2023年には株式会社ZIAIをスピンアウトし、同社代表取締役。

企業紹介



“カウンセリングの再発明”を掲げるヘルスケアAIスタートアップ。自殺対策を目的にしたAI研究開発を行う非営利団体として設立されたのが起源。最大の強みは、最先端の自然言語処理技術と蓄積された悩み相談データにより開発する”傾聴AIアルゴリズム”。これまでにない傾聴体験を提供することで人々の心を支え、誰もが『まずは自分自身を愛せる社会』を目指している。

株式会社オリィ研究所

登壇タイトル

障害者雇用問題と人材不足を同時に解決する



登壇者紹介

伴 有花子

リクルート（2013～2023）

オリィ研究所（2023～現職）

企業紹介



2014年から重度の身体障害者を雇用し、重度障害があっても分身ロボットを操作できる様々なインタフェースの開発をし、それらを用いた社会参加、就労サポートを実施。分身ロボットを活用したテレワークを行う実験として、2018年より期間限定の「分身ロボットカフェ DAWN ver.β」を常設。分身ロボットを活用し、テレワークで働きたい人と、接客や案内などコミュニケーション人材による障害者雇用を求める企業とのマッチングを実現。その中で、分身ロボットを活用したコミュニケーション分野以外のスキルを活かしたい障害者の方も多くおられることが分かり、分身ロボット活用にこだわらない、より多くの人々の選択肢を豊かにすることに着目したサービスとして、テレワークに特化した人材紹介サービスを開始。

株式会社キヨスル

登壇タイトル

「法定三帳簿サンチョ」が地方の人材採用・定着を加速させる



登壇者紹介

松本 孝行

1983年兵庫県伊丹市生まれ。立命館大学経営学部を卒業後、パソコンソフト卸売のルート営業、総合商社子会社での営業を経験。

2008年から独立し、2011年頃からSEO対策・リスティング広告・SNS活用などを独学で学び始める。2022年7月、株式会社キヨスルを設立。

企業紹介



Webマーケティング支援を行い、企業の集客・採用のお手伝いをします。主にリスティング広告・SNS広告の運用代行、LP・ウェブサイト制作からアクセス解析と改善施策を実行します。

株式会社さいはら

登壇タイトル

空き家マッチングサービスで鹿児島県を活性化



登壇者紹介

裁原 萌衣

鹿児島県出身 1995年生まれ 法政大学国際文化学部卒業 住友商事グローバルメタルズ(株)に入社し北米・欧州・アジア向けの鉄鋼輸出業務に従事 2022年に鹿児島県にUターンし株式会社さいはら取締役に就任

組織紹介

【創業年月日】2021年4月1日

【事業内容】 不動産業(売買仲介)・相続コンサル業

【拠点所在地】鹿児島市下荒田4丁目46-23

株式会社さいはら

ひとケアワークLab.

登壇タイトル

ジェンダー視点から考える地域の課題と社会の未来



登壇者紹介

巽 真理子

ひとケアワークLab.主宰、大阪公立大学ダイバーシティ研究環境研究所 客員准教授。

大学卒業後、20代は会社員、30代は子育てをしながら様々な市民活動に参加。40代目前に大学院に入学してからは、子育てとジェンダーについて研究している(博士(人間科学))。大学院在学中の2010年に大阪府立大学 女性研究者支援センター コーディネーターとなり、現在も大学の女性活躍推進に関わっている。

組織紹介

ひとケア・ワークLab.は、働く人とケア(子育て・介護など)の問題をジェンダー視点から考えて・伝えることを通して、暮らしやすい社会づくりに貢献するため、2022年からオンラインセミナーなどを開催しています。

ひとケア・ワーク
Lab.



洲本市

登壇タイトル

淡路島・洲本市の魅力や資源を活かすビジネス、一緒にやりましょう！



※イラストはイメージです

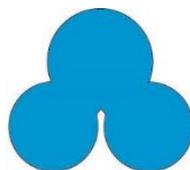
登壇者紹介

高橋 壱

洲本市企画情報部企画課 新エネ・域学連携担当係長

2000年に五色町（現洲本市）に入庁。農村振興に携わる部署に長らく勤務した後、2019年から現職。現在まで、再生可能エネルギー推進に17年、大学との連携による地域づくり“域学連携事業”に11年従事。2017年には龍谷大学政策学部との連携により、売電利益を地域に還元する“地域貢献型メガソーラー”を市内のため池水面に設置。

組織紹介



洲本市は、地域と大学の連携によるまちづくり「域学連携」に2013年度から取り組んでいます。11年間で38校1,100人超の学生や教員が、本市の住民や団体と協働し、地域貢献型発電所の設置、古民家や廃校のDIY改修、農林業資源を活用した商品開発など、活性化につながるユニークで多岐にわたる成果をあげてきました。近年では大学に限らず、新たなチャレンジを求める都市部の企業や若者も巻き込んだ幅広い連携に発展してきたことから、2023年4月に、公民連携により「淡路島クエストカレッジ」が開校しました。

兵庫県

登壇タイトル

これから広がるドローンの可能性 ～兵庫県における取組～



※イラストはイメージです

登壇者紹介

井上 大輔

工学系大学院を修了後、電力会社に入社。エンジニアリング会社に軸足を移した後、社会のしくみを変えることに関心を抱き、2013年に兵庫県庁入庁。政策系の大学院を修了し、現在の新産業課にて次世代成長産業支援に取り組む。

組織紹介



県内には「播磨科学公園都市」や「富嶽」などの世界最高水準の科学技術基盤が立地。次世代産業として成長が期待される分野で産学官と連携して、国内外を先導する兵庫を目指す。

三宅町

登壇タイトル

三宅町役場の挑戦



登壇者紹介

岡野 憲

三宅町役場みやけイノベーション推進部 参与



組織紹介

三宅町は奈良盆地の中央部に位置し、面積約4.06km²で全国で2番目に小さな町です。小ささを生かしたまちづくりを行っています。

阪南市

登壇タイトル

阪南市の「食」、「自然」をフックにした観光展開に向けて



※イラストはイメージです

登壇者紹介

目崎 裕也

未来創生部 まちの活力創造課 観光担当



組織紹介

大阪府の南に位置し、大阪湾と和泉山脈に囲まれた自然豊かで食の魅力あふれる街。